

2019年1月22日

各位

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社

責任銀行原則への支持表明について

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社(取締役執行役社長:大久保 哲夫)は、国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)が提唱し、本年9月に発効予定の「責任銀行原則(PRB:Principles for Responsible Banking)への署名に向けて、同原則への支持を表明しましたのでお知らせします。

「責任銀行原則」は、銀行業務を持続可能な開発目標(SDGs)やパリ協定に示されているような社会的目標に即したものにすることを目的に策定されたもので、銀行が社会と株主の双方の価値を創造することで21世紀における経済と社会の変化の機会をとらえ、投資家、顧客、社員、社会との信頼関係を築くことを支援するものです。

サステナビリティ(持続可能性)を巡る環境・社会的な課題の解決に向けて、金融機関には主体的な役割の発揮が求められています。「ESG経営 国内金融機関 No.1」を標榜する当グループは、サステナブル金融推進のための取り組みを一貫して追求し、気候変動問題、自然資本、環境不動産、サステナブル投資、超高齢社会問題を優先する5大テーマと位置付け、課題解決型の商品・サービスの開発にも注力してきました。

「責任銀行原則」は、三井住友トラスト・グループの社会的責任に関する基本方針(サステナビリティ方針)にも合致するものであり、支持を表明します。

SDGs やパリ協定が掲げる課題の解決には、多様なステークホルダーの連携が不可欠であり、とりわけ資金を最適に配分するサステナブル金融の役割は極めて大きいと言えます。三井住友トラスト・グループは、これまでも信託銀行の機能を活用して環境問題の解決に注力する Eco Trustution に注力してきましたが、今後さらにそうした取り組みを加速させ、銀行業界においてリーダーシップを発揮して行きたいと思えます。

2019年1月17日

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社 取締役執行役社長 大久保 哲夫

以上